

地域素材に繰り返し触れることで地域のよさに気づく

～生活科・総合的な学習の時間を中心として～

桐生市立相生小学校

1 はじめに

本校では、意図的・計画的に繰り返し地域素材（周辺の自然・文化・人）に触れることを通して、地域への思いを少しずつ深めていくことを目指して取り組んでいる。特に低学年においては、体験的学習の中で学校周辺の自然や文化に出会い、地域の人と関わって自分で質問したり調べたりしながらより多くのことに気付くことが大切と考える。また、中学年においては、学校区から周辺へと学習対象を広げたり見学だけでなく資料も活用したりしながら地域素材の価値を正しく知り、身近な地域にそうした素材があることへの誇りと愛情をもてるように学習を進めていくことを目指している。

2 概要

- ・1年生の生活科では、地域の寺の招きで節分行事に参加し、行事の意味や冬から春へと季節が変わる風情を体感した。また、地区敬老会の協力を得て、昔から伝わる遊びを教わる中で楽しく触れ合い、年配者の優しさを感じることができた。
- ・2年生の生活科では、春と秋の2回、学校周辺の探検を行った。1回目は、オリジナルの『相生小まちたんけんマップ』を持って地域を歩き、見つけた店や施設等を書き込みながら、町並みや地域の様子を地図にまとめた。2回目は、児童の興味や関心に合わせてグループ別に学校周辺の商店・駅・施設・交番・保育園などを訪問し、各所で話を聞いた。
- ・3年生の総合的な学習の時間では、学校区を中心に建物や工場、施設、合同庁舎、文化財（「明治館」等）を廻る学習を行った。校外学習では、市内中心部へと足を伸ばし、駅前、新川公園、有隣館等の施設を見学した。また、織物協同組合の協力で織物体験授業を実施し、実際に機を織る体験を行った。秋には、バスを利用して織物参考館『紫』で染物体験を行ったり『ぐんま昆虫の森』の施設を活用したりして体験的な学習も行った。
- ・4年生の総合的な学習の時間では、関心のある地域の史跡や施設等について児童それぞれが夏休みを利用して写真撮影や取材を進めておき、コンピュータ等で検索した資料等も併用しながら調べ、ミニ新聞にまとめる活動を行った。

3 活動の様子

(1) 1年生 生活科「むかし遊びの会」

1月下旬、地域の敬老会『長寿会』の協力を得て、恒例の「むかし遊びの会」を行った。羽子板やこま回しには正月らしい季節感があり、あやとり、けん玉、輪なげ、お手玉、折り紙などの遊びは頭を使いながら体を動かす楽しい体験となった。お年寄りの知恵や技術に感心しながらも自分でできた喜びを感じ、地域の皆様とあたたかく触れ合う時間となった。



敬老会と「むかし遊び」

(2) 2年生 生活科「町たんけん」

保護者ボランティアの協力を得て、児童47名が10のグループに分かれ興味・関心をもった場所の探検を行った。インタビューを通して調べた情報や気付いたことを持ち寄り、話し合いを繰り返しながら、後日、協力して模造紙大のグループ新聞にまとめた。さらに、完成したグループ新聞を見せながら、11月の学習参観の場でクイズ等を交えて全保護者に向けて発表を行った。



「相生交番」でインタビュー

(3) 3年生 総合「相生たんけん」「市内めぐり」

群馬県指定天然記念物に指定されている「相生の松」の見学には、全児童が足を運んだ。児童は、松の大きさや形状に驚くとともに、松の由来に思いを馳せたり、相生の名前が松にちなんで付けられたことを知ったりすることで、地域への思いを膨らませることができた。また、周囲に落ちていた橡の実に驚き身近にある自然へも目を向けるきっかけとなった。また、上毛電鉄を利用して市街地へと足を運び、本町の天満宮、有鄰館の見学や中心部の白滝神社、市役所、市民文化会館（シルクホール）等の見学へと対象や範囲を広げた。



「相生の松」に歓声

(4) 4年生 総合「相生大好き」

校区を目安に、児童が興味・関心に応じて深く知りたい場所を自ら選び、夏休み中に自分たちで撮影した写真を活用して詳しくまとめ、互いにミニ新聞で発表し合う活動を行った。富士山など地域の自然地形について調べる児童、愛宕神社・八坂神社・明治館など由緒ある場所について調べる児童、ユーユー広場・運動公園・市民プール・市民体育館などの市有施設を調べる児童、相老駅、赤岩橋など公共交通施設を調べる児童がおり、調べる対象に迷う程多くの地域素材をもつ相生地区や桐生市の魅力について改めて気づく時間となった。



有鄰館で「からくり人形」見学



「相生大好き 新聞」完成

4 おわりに

「桐生を好きな子」の育成に向け、各学年の学習活動の中で繰り返し地域素材に触れることを目指してきた。相生地区には魅力ある場所がたくさんあることを知り、学習を支えてくれる人々と触れ合うことで、地域に愛情と誇りを感じることができたと考えている。また、対象とする地域を相生地区から桐生市全体へと少しずつ広げていくことも意識し、高学年の宿泊学習では野外活動センターで桐生川の自然を満喫する体験をするとともに、理科の学習では渡良瀬川に足を運ぶことも意図的に行った。今後も地域を生かした様々な活動を計画的に取り入れていきたい。